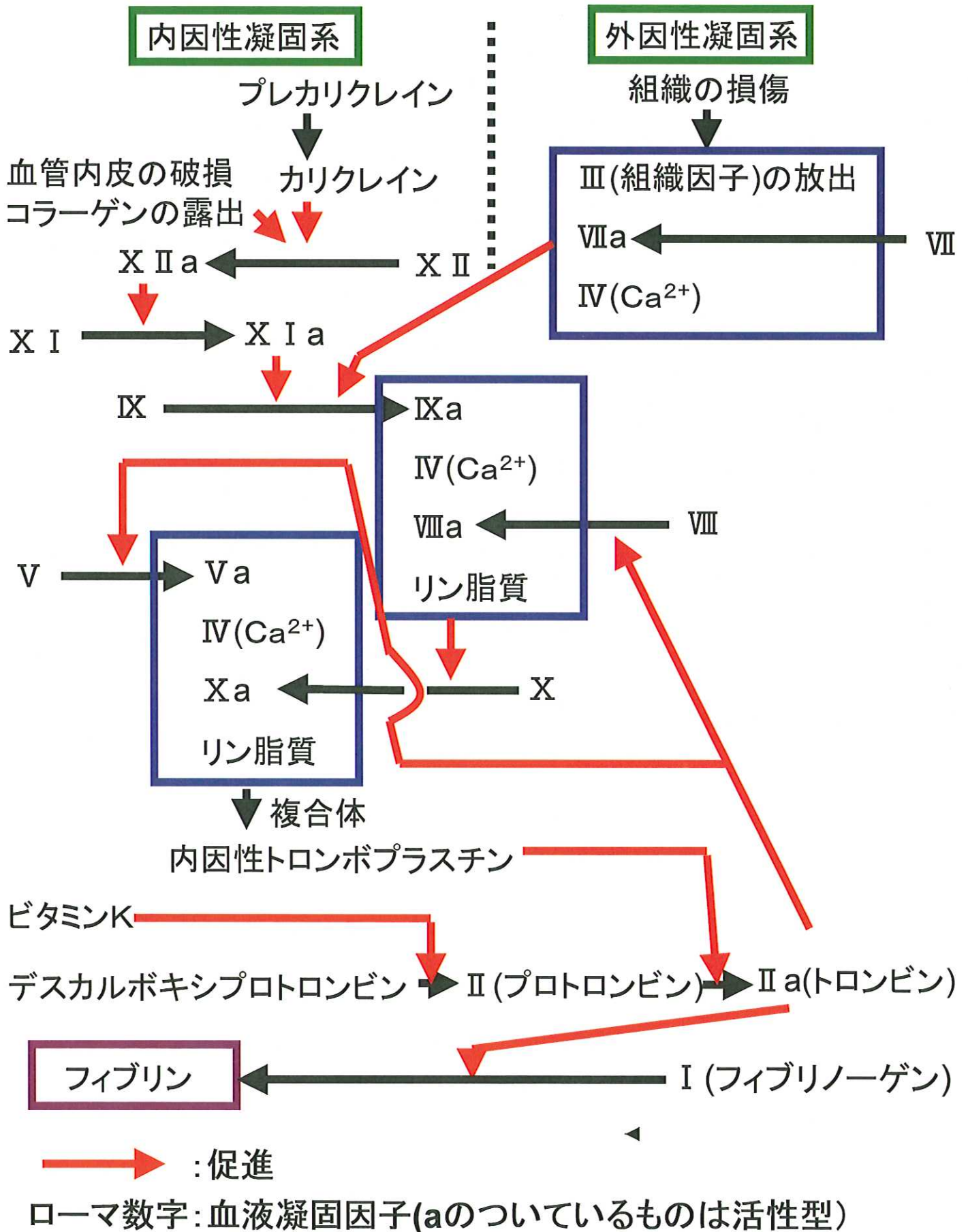
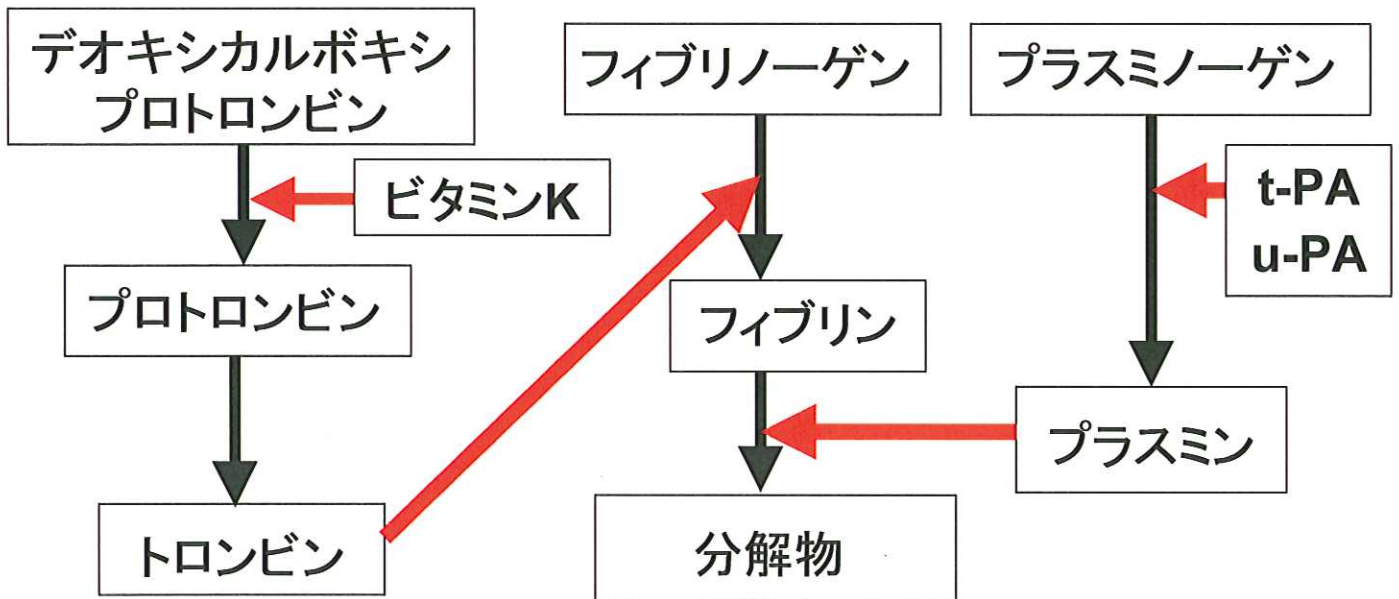


血液凝固系



血液凝固系と線溶系



t-PA: 組織性プラスミノーゲンアクチベター

u-PA: ウロキナーゼ型プラスミノーゲン

➡ : 促進 ➡ : 転化

血液凝固はフィブリノーゲン→フィブリンとなり起こる。フィブリノーゲンからフィブリンへの変換はトロンビンにより促進される。

トロンビンはプロトロンビンより生成される。プロトロンビンの生成の促進にはビタミンKが関与する。

フィブリンはプラスミンにより分解物となり血栓が溶解される。

抗凝固薬

ヘパリンナトリウム

トロンビンと拮抗するアンチトロンビンⅢと結合し活性化し血液の凝固を阻止する。

(抗ヘパリン薬ープロタミン)

ワルファリンカリウム

ビタミンKと競合しプロトロンビン等の生成を阻害する

クエン酸ナトリウム

Caイオンと結合し血液凝固を阻止

採決した血液の凝固阻止に使用される

抗血栓剤

ウロキナーゼ

プラスミノゲンに作用しプラスミンへの転化しフィブリン分解を促進する

抗トロンビン薬

アルガトロバン

トロンビンを選択的に阻害し血小板凝集作用を阻害

メシル酸ガベキサート

アンチトロンビンⅢを必要とせずトロンビン活性型第Ⅹ因子を阻害。

対血管性止血薬

カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム

細血管の血管透過性を抑制し血管抵抗性を増強する
血液凝固系・線溶系に影響しない

抗プラスミン剤

トラネキサム酸

プラスミンやプラスミノゲンと結合しフィブリンとの結合を阻止しフィブリンの分解を抑制

参考資料: 治療薬マニュアル2006 医学書院

今日の治療薬2007 南江堂

処方ができる医療薬理学2004-2005 Gakken

薬理学 廣川書店